

平成 28 年度 第 2 回東区協議会次第

日時：平成 28 年 5 月 25 日（水）午後 1 時 30 分から

会場：東区役所 3 階 31、32 会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 協議事項について

ア 第 10 次浜松市交通安全計画策定に係るパブリックコメントの実施について

【道路企画課】

イ 平成 27 年度地域力向上事業の事後評価について

【区振興課】

ウ 平成 28 年度地域力向上事業について（5 月追加申請分）

【区振興課】

(2) 地域課題について

東区協議会委員会活動について

4 その他

(1) その他

(2) 6 月の開催予定 平成 28 年 6 月 28 日（火）午後 1 時 30 分から

会場 東部保健福祉センター

5 閉会

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項																			
件 名	第10次浜松市交通安全計画策定に係るパブリックコメントの実施について																			
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>○パブリックコメント実施について 目 的：標記計画策定に当たり、パブリックコメント制度を利用し、広く市民の意見を聞き、計画に反映していく。 実施期間：平成28年5月23日（月）～6月22日（水）まで</p> <p>○計画策定の背景・経緯 ・本計画は、浜松市区域における陸上交通安全に関する長期的な施策を総合的かつ計画的に推進するための長期的な施策の大綱として策定 ・交通安全対策基本法第26条第1項の規定及び国・県の計画に基づき昭和46年から5ヶ年毎に策定している。</p> <p>○第9次計画の目標及びH27の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標年</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値との差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>死者数</td> <td>平成27年末</td> <td>22人以下</td> <td>25人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>人身事故発生件数</td> <td>平成27年末</td> <td>8,300件以下</td> <td>8,697件</td> <td>△397件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・人身交通事故及び死者数については、第9次計画の最終年(平成27年)の目標には未到達ではあるが、政令指定都市移行後最も少ない件数であった。 ・高齢社会の進展に伴う、高齢者事故、高齢ドライバーによる事故が年々増加している。</p>						目標年	目標値	実績	目標値との差	死者数	平成27年末	22人以下	25人	3人	人身事故発生件数	平成27年末	8,300件以下	8,697件	△397件
	目標年	目標値	実績	目標値との差																
死者数	平成27年末	22人以下	25人	3人																
人身事故発生件数	平成27年末	8,300件以下	8,697件	△397件																
対象の区協議会	全区																			
内 容	<p>○計画の趣旨 ・浜松市区域における陸上交通安全に関する長期的な施策の大綱 ・浜松市の区域における陸上交通安全に関する施策の大綱を定めて事故削減を目指していく。</p> <p>○計画の内容 ・基本理念、道路交通の安全、鉄道交通の安全 など5つの柱を設定 ・柱に対し「目標」「対策を考える視点」「講じようとする施策」を整理・設定 ・計画期間：平成28年度から平成32年度 ・計画最終年(H32年)の目標 人身交通事故件数 6,000件以下 死者数：17人以下</p>																			
備 考 (答申・協議結果 を得たい時期、今 後の予定など)																				
担当課	道路企画課	担当者	交通安全担当課長 長坂芳達	電話	457-2232															

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

第 10 次浜松市交通安全計画（案）（概要版）

浜松市交通安全計画は、交通安全対策基本法第 26 条第 1 項の規定に基づき、昭和 46 年から 5 ヶ年毎に交通安全計画を策定し、交通安全に関する諸施策を進めてまいりました。今回の計画は第 10 次計画（平成 28 年度から平成 32 年度）となります。本計画は、国、県の交通安全計画に基づき、浜松市の区域における陸上交通の安全に関する長期的な施策を総合的かつ計画的に推進するため定めるものです。

■ 第 9 次交通安全計画における道路交通事故の目標値・実績の推移

	目標年	目標値	実績	目標値との差
死者数	平成 27 年末	22 人以下	25 人	3 人
人身事故発生件数	平成 27 年末	8,300 件以下	8,697 件	△397 件

今回の計画は、第 10 次浜松市交通安全計画（平成 28 年度から平成 32 年度）となり、国・県の交通安全計画に基づき、浜松市の区域における陸上交通の安全に関する施策の大綱を定め事故削減を目指していくものです。

計 画 期 間

平成 28 年度から平成 32 年度まで

計画の基本理念と目標

－ 交通事故のない社会を目指して －

【基本理念】（1 頁）

- ◆ 人間尊重及び「おもいやり ありがとう」の理念に基づき、究極的には交通事故のない社会を目指す。
- ◆ 「人優先」の交通安全思想を基本とした、あらゆる施策を推進する。
- ◆ 人間、交通機関及び交通環境という交通社会を構成する三要素について、それら相互の関連を考慮しながら、可能な限り成果目標を設定した施策を市民の理解と協力の下、強力に推進する。
- ◆ 情報通信技術（ICT）を活用するとともに市民参加・協働型の交通安全運動を推進する。

【目 標】

[道路交通]（4 頁）	平成 32 年末 年間死者数	17 人以下
	人身事故件数	6,000 件以下
[鉄道交通]（56 頁）	乗客等の死者数	ゼロ
	運転事故件数の減少	を目指す
[踏切道]（62 頁）	踏切事故件数の減少	を目指す

道路交通事故の現状 (5 頁)

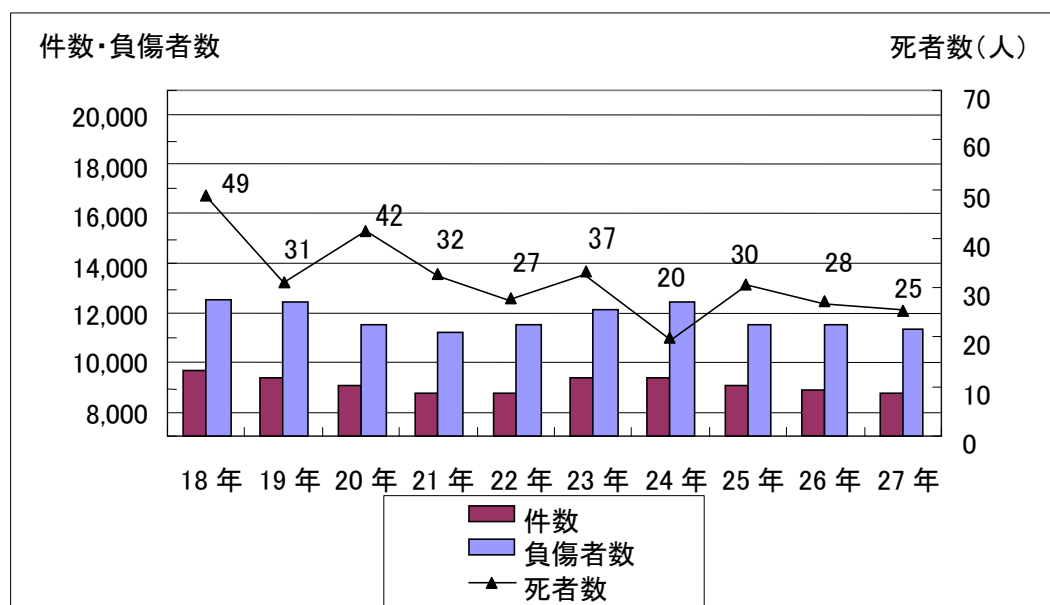
市内の交通事故情勢を見ると、死者数は平成 4 年頃までは 50 人から 70 人前後で推移し、平成 24 年には過去最低の 20 人を達成することができたが、平成 25 年に 30 人に増加し、その後は減少し転じ、平成 27 年は 25 人となった。

また、人身事故の発生件数は、昭和 52 年の 4,221 件を最低に以後増加傾向が続き、平成 18 年には 9,936 件と過去最多を記録した。その後、減少傾向に転じたが、平成 22 年に増加に転じ、その後平成 23 年から増加傾向を示していたが、平成 25 年から減少傾向に転じ、平成 27 年には 8,697 件となった。

(※数値は、いずれも現在の市域に相当する範囲におけるもの。)

■ 道路交通事故による人身事故発生件数、死者数及び負傷者数の推移

年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年
件数	9,936	9,553	9,176	8,969	9,050	9,424	9,412	9,039	8,915	8,697
負傷者数	12,665	12,348	11,756	11,466	11,768	12,077	12,302	11,626	11,574	11,330
死者数	49	31	42	32	27	37	20	30	28	25



■ 近年の交通事故の特徴

(1) 高齢者事故の増加

交通事故死者数のうち高齢者の割合が 7 割を超えている。

中でも、歩行者事故については、その 8 割を高齢者が占めている。

(2) 全事故のうち、約半数が交差点及び交差点付近で発生。



道路交通を取り巻く状況の展望

(6 頁)

少子高齢化が進行する中、高齢者人口の増加、中でも高齢運転者の増加は、道路交通に大きな影響を与えるものと考えられる。

今後の道路交通安全対策を考える視点 (7 頁)

① 高齢者と子供の安全確保 (8 頁)

- ・高齢者が安全かつ安心して外出できる交通社会の形成が必要。
- ・子供の安全を確保する観点から、通学路等における歩道等歩行空間の整備を推進する。

② 歩行者と自転車の安全確保 (8 頁)

- ・人優先の考えの下、歩行者の安全確保を図る施策を推進する。
- ・自転車の走行空間の確保と交通安全教育等の充実を図る。

③ 生活道路における安全確保 (9 頁)

- ・生活道路における交通安全対策及び交通流の円滑化を推進する。
- ・幹線道路における、事故原因に即した効果の高い対策を推進する。

④ 通勤時間帯における安全確保 (9 頁)

- ・心と時間にゆとりを持った通勤を心がけてもらえるようドライバー等への呼び掛けや、時差出勤への理解を深めるための啓発事業等の充実を図る。

道路交通の安全について講じようとする施策 (10 頁)

1 道路交通環境の整備 (10 頁)

- ・生活道路、通学路等における「人」の視点に立った安全対策を推進する。(10 頁)
 - ・通過交通の排除や車両速度の抑制等ゾーン対策を実施し子供や高齢者等が安心して通行できる道路空間の創出
 - ・通勤時間帯の安全確保を目指し、ドライバー等への啓発

2 交通安全思想の普及徹底 (24 頁)

- ・交通安全の確保は自らの課題と捉えられるよう、人間の成長過程に合わせ、「人優先」の交通安全思想を基本に、幼児から高齢者に至るまで、段階的かつ体系的な安全教育を推進し意識改革を促す。(24 頁)
 - ・児童～高齢者までをそれぞれ項目立てし、段階的な交通安全教育の推進
 - ・「おもいやり あいがとう」の理念の下、交通安全に関する普及啓発活動を展開
 - ・自発光式反射材用品等の普及促進

3 安全運転の確保 (33 頁)

- ・運転者教育等の充実や安全運転管理等を推進する。

4 車両の安全性の確保 (39 頁)

- ・被害軽減対策や予防安全対策の充実を図る。

5 道路交通秩序の維持 (42 頁)

- ・悪質性、危険性、迷惑性の高い違反の重点的取締りを推進する。

6 救助・救急活動の充実 (45 頁)

- ・救助・救急体制の整備・拡充、応急手当の普及等を推進する。
- ・交通事故等による負傷者の救命を図るため、市民に対し、心肺蘇生法や AED の使い方等の応急救護処置の知識の普及に努める。

7 被害者支援の充実と推進 (48 頁)

- ・交通事故被害者等に対する相談及び支援の充実を図る。
- ・交通遺児等福祉手当支給制度

8 研究開発および調査研究の充実 (50 頁)

- ・道路交通安全に関する研究開発の推進を図る。
- ・道路交通事故要因の総合的な調査研究の推進を図る。

第2章 鉄道交通の安全

(54 頁)

鉄道事故の状況

(55 頁)

全国的には鉄道事故は減少傾向にあるが、ひとたび発生すると被害が甚大となり、利用者の利便に重大な支障をもたらす。

今後の鉄道交通安全対策を考える視点

(55 頁)

- | |
|------------------|
| ① 重大な列車事故の未然防止 |
| ② 利用者等の関係する事故の防止 |

鉄道交通の安全について講じようとする施策

(56 頁)

1 鉄道交通環境の整備 (56 頁)

- ・鉄道施設の維持管理等の徹底、運転保安設備の整備等の強化を促進する。

2 鉄道交通の安全に関する知識の普及 (57 頁)

- ・学校、沿線住民等を対象とした広報活動を推進する。

3 鉄道の安全な運行の確保 (57 頁)

- ・鉄道事業者に対する保安監査を実施し、輸送の安全の確保に関する取組の状況等について適切な指導を行うとともに、フォローアップを実施する。
- ・乗務員等の資質向上を図るとともに、列車の運行管理体制の充実等を図る。

4 鉄道車両の安全性の確保 (58 頁)

- ・適時、適切に鉄道車両の構造・装置に関する保安上の技術基準を見直す。

5 救助・救急活動の充実 (58 頁)

- ・事故発生時における、消防機関等との協力活動体制の強化を図る。

6 被害者等支援の推進 (58 頁)

- ・警察、医療機関等と連携を図り、被害者等の心情に配慮した対策を推進する。

7 鉄道事故等の原因究明と再発防止 (58 頁)

- ・原因究明を迅速かつ的確に行い、再発防止を図る。

8 研究開発及び調査研究の充実 (59 頁)

- ・施設、車両、運転等に関する新技術の評価とその効果予測に関する研究等の実施。

第3章 踏切道における交通の安全

(60 頁)

踏切事故の状況

(61 頁)

全国の踏切事故は長期的には減少傾向にあるが、依然として鉄道運転事故の約3割を占めている。

今後の踏切道における交通安全対策を考える視点

(62 頁)

それぞれの踏切の状況等を勘案した、より効果的な対策を推進する。

踏切道の安全について講じようとする施策

(62 頁)

- 1 踏切道の立体交差化及び構造の改良の促進 (62 頁)**
 - ・ 主要な道路との立体交差化による踏切道の除却等を推進する。
- 2 踏切保安設備の整備及び交通規制の実施 (62 頁)**
 - ・ 踏切遮断機等の整備や、道路交通量を考慮した交通規制を実施する。
- 3 踏切道の統廃合の促進 (63 頁)**
 - ・ 踏切道の立体化等に併せ、近隣踏切道の統廃合を促進する。
- 4 その他踏切の交通の安全と円滑化を図るための措置 (63 頁)**
 - ・ 踏切関連施設の研究開発や、踏切通行車両等への事故防止啓発を図る。

第4章 大規模地震に備えての交通の安全

(64 頁)

想定される事態と初動措置

(64 頁)

東海地震注意情報発表時、警戒宣言発令時及び地震発生時の対策を検討する。

講じようとする施策

(66 頁)

- 1 緊急交通路等の確保 (66 頁)**
 - ・ 災害発生時における迅速な交通規制や、交通情報板等の装置の整備を図る。
- 2 警戒宣言発令時及び地震発生時における自動車運転者の執る措置の周知徹底 (66 頁)**
 - ・ 交通混乱を防止するため、自動車運転者の執るべき措置の周知を図る。
- 3 信号用電源付加装置及び移動式交通情報車等の整備 (66 頁)**
 - ・ 停電に備えた装置や、適正な広報を行う施設の整備を図る。
- 4 その他の交通安全対策 (67 頁)**
 - ・ 緊急輸送路上に存在する橋梁等に対し、橋脚の補強等を推進する。

浜松市地域力向上事業 事業の評価について

1 地域力向上事業の事後評価について

地域力向上事業は、全ての事業が完了した後に「事後評価」を行っています。

時期は、例年、事業実施翌年度の5月です。

<評価の流れ>

- ①東区行政推進会議で評価をする
- ②東区協議会で意見を伺う
- ③区のホームページで評価結果を公表する

2 評価の基準について

事後評価は、以下の項目で行っています。

■ 市民提案による住みよい地域づくり助成事業の評価基準（全区共通）

評価項目		評価及び判断基準		
東区らしさ	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・事業の実施にあたり、各区固有の人材、資源などを活かしたか。より発展、強化させることに繋がったか。		
事業目的の達成度	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。		
財政支援の必要性	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・市が補助金を支出して支援を行う必要性（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）		
費用対効果	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。		

■ 区民活動・文化振興事業、区課題解決事業の評価基準（東区独自）

評価項目		評価及び判断基準		
東区らしさ	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・東区における地域課題の解決及び地域資源の活用となる事業であったか。		
事業の公益性	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・区の裁量事業として実施することの妥当性はあったか。		
事業の効果	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・区の文化振興や課題解決等がされたか。 ・区民サービスの向上がされたか。		
経済性（費用対効果）	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・事業費に見合う効果が見られたか。 ・市民が理解できる事業費であったか。		

3 中間評価について <参考>

- 事後評価は、全ての事業が完了した後（4月以降）に実施するため、助成事業の1次募集の時期（12月～1月）には間に合いません。そのため、継続して申請のあった事業採択の参考にするために、中間評価を実施しています。
- 中間評価は、事後評価と違い、要綱では「中間評価を実施できる」となっているため、実施するかどうかは、各区の判断に委ねられています。
東区では、毎年中間評価を行っており、平成27年度の分は1月に行いました。

平成27年度 地域力向上事業 事後評価

【助成事業】

(円)

No.	事業名	中間評価 状況	事後評価				所管課	市執行額 (補助金額)
			東区らしさ	達成度	支援の必要性	費用対効果		
1	中野町煙火大会2015	完了	A	A	B	B	区振興課	1,800,000
2	有玉伝統文化継承事業(流鏑馬・獅子舞)	完了	A	A	B	A	区振興課	140,000
3	遊休農地を利用してそば作りで地域の活性化	実施中	A	A	B	B	区振興課	80,000
4	大船渡市から学ぶ地域防災と大船渡応援イベントの開催	完了	A	B	B	A	区振興課	550,000
5	平成27年度 蒲ザクラまつり	実施中	A	A	B	A	区振興課	580,000
6	家庭、学校、地域の三位一体による人間形成力向上事業	実施中	A	B	A	A	区振興課	106,000
7	防災カフェ&「被災地から希望を乗せて」講演会・ライブコンサート	実施中	A	A	B	A	区振興課	150,000
8	地域若者コミュニティづくり事業～和太鼓に触れて～	完了	A	A	B	B	区振興課	69,000
							小計	3,475,000

【区民活動・文化振興事業】

(円)

No.	事業名	中間評価 状況	事後評価				所管課	市執行額 (決算額)
			東区らしさ	公益性	事業の効果	経済性		
1	第7回東区長杯キンボールスポーツ大会	実施中	A	A	B	B	区民生活課	365,000
2	『東区・家康公ゆかりの里』推進事業	完了	A	B	A	A	区民生活課	800,280
3	東区地域福祉講演会	完了	A	A	A	A	社会福祉課	230,000
4	東区大型商業施設との連携事業	完了	A	A	B	A	区振興課 長寿保険課	52,460
5	東区市民映画音楽祭2015	実施中	A	B	A	B	区振興課	1,300,000
6	東区”匠の技”講座	実施中	A	A	B	B	区民生活課	175,004
							小計	2,922,744

【区課題解決事業】

(円)

No.	事業名	中間評価 状況	事後評価				所管課	市執行額 (決算額)
			東区らしさ	公益性	事業の効果	経済性		
1	東区 交通安全声かけ運動 ～交通事故ワースト1脱出大作戦～	実施中	A	A	B	B	区振興課	489,672
2	健康力アップ in 東区	完了	A	A	A	A	健康づくり課	183,428
3	ノルディック・ウォークで健康力アップ	完了	B	A	B	A	健康づくり課	90,000
4	中学生自転車危険予知体験教室	完了	A	A	A	A	区振興課	898,722
5	交通安全・防犯のための点検運動	実施中	A	A	B	B	区民生活課	533,474
6	親子でかかしづくりにチャレンジ	完了	A	A	A	B	区民生活課	300,000
							小計	2,495,296
							合計	8,893,040

助成事業 No.1

< 平成27年度 > (東区 区振興課)

現 状 完 了

事業名	中野町煙火大会2015																														
実施団体名	中野町煙火大会実行委員会																														
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の夏の風物詩としての煙火大会に、よさこい踊り、スポーツ大会等を組み合わせた地域の一大イベントとして定着・発展させる。 ・地域の親睦を図り、明るく住みよい地域づくりを行う。 ・次世代を担う若者の発掘を進める。 ・東区民のふれあいの場を創出する。 																														
事業の成果 (内容)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">内容</th> <th style="width: 15%;">日</th> <th style="width: 25%;">会場</th> <th style="width: 30%;">参 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファミリーバドミントン</td> <td>8月2日</td> <td>蒲小学校</td> <td>7チーム 42人</td> </tr> <tr> <td>輪投げ大会</td> <td>8月4日</td> <td>笠井協働センター</td> <td>84人+役員</td> </tr> <tr> <td>グラウンドゴルフ大会</td> <td>8月6日</td> <td>天竜川河川敷</td> <td>90人+役員</td> </tr> <tr> <td>少年少女サッカーフェスティバル</td> <td>8月8日・9日</td> <td>中ノ町小学校</td> <td>8チーム 120人+観客 120人</td> </tr> <tr> <td>よさこい踊り</td> <td>8月14日</td> <td>天竜川河川敷</td> <td>若者有志</td> </tr> <tr> <td>煙火大会</td> <td>8月14日</td> <td>天竜川河川敷</td> <td>観客 約4万人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーバドミントン大会 今年度新たに始めたイベントである。東区全域から小学校区単位を基本として参加を募り、7チームが参加した。 ・輪投げ、グラウンドゴルフ大会 夏の高齢者のイベントとして定着してきており、毎年楽しみにしているという声が聞かれるようになった。 ・少年少女サッカーフェスティバル 東区区长杯争奪 少年少女サッカーフェスティバルとして、東区全域から参加チームを募集し、2日間実施した。プロフットサルチーム「アグレミーナ浜松」の協力を得て、サッカー教室も実施。子どもたちに大変人気であった。 ・煙火大会(よさこい踊り) 夏の風物詩として、約4万人の人に見られている。さらに、よさこい踊りなども組み合わせた地域の一大イベントとして発展させている。 準備、運営、片付けに参加してくれる地元の若者は年々増え、次世代を担う若者が積極的に地域に関わっている。 			内容	日	会場	参 加	ファミリーバドミントン	8月2日	蒲小学校	7チーム 42人	輪投げ大会	8月4日	笠井協働センター	84人+役員	グラウンドゴルフ大会	8月6日	天竜川河川敷	90人+役員	少年少女サッカーフェスティバル	8月8日・9日	中ノ町小学校	8チーム 120人+観客 120人	よさこい踊り	8月14日	天竜川河川敷	若者有志	煙火大会	8月14日	天竜川河川敷	観客 約4万人
内容	日	会場	参 加																												
ファミリーバドミントン	8月2日	蒲小学校	7チーム 42人																												
輪投げ大会	8月4日	笠井協働センター	84人+役員																												
グラウンドゴルフ大会	8月6日	天竜川河川敷	90人+役員																												
少年少女サッカーフェスティバル	8月8日・9日	中ノ町小学校	8チーム 120人+観客 120人																												
よさこい踊り	8月14日	天竜川河川敷	若者有志																												
煙火大会	8月14日	天竜川河川敷	観客 約4万人																												
総事業費(円)	15,423,886	補助金額(円)	1,800,000																												
評 価	項 目	ランク																													
		A	B	C																											
	1) 東区らしさ	(高)い	普通	低																											
	2) 事業目的の達成度	(高)い	普通	低																											
	3) 財政支援の必要性	高	(普)通	低																											
4) 費用対効果	高	(普)通	低																												
意見等																															
<p>・夏の風物詩の煙火大会に、よさこい踊り、スポーツ大会等を組み合わせた地域の一大イベントを開催する内容であり、地域コミュニティづくり事業、文化・スポーツ振興事業である。</p> <p>・H25から少年少女サッカーフェスティバルを東区全域を対象とした東区長杯として実施、現在、全てのスポーツ大会が東区全域を対象としており、東区全体のイベントとして定着している。</p> <p>・プロフットサルチーム「アグレミーナ浜松」にも協力いただく中で、少年少女サッカーフェスティバルを開催、交流を広めた。</p> <p>・これらのイベントは、地域の方々の力を結集して実施しており、中ノ町地区にとどまらず、東区の活性化に繋がる事業である。</p> <p>・煙火大会においては、「会場に緊急車両が入れるようにすること」などを条件として採択された。今年度については、出店の仕方を工夫するなどして対策を行った。今後も、実施する際には、安全への配慮を最大限行い、対策を講じていく必要がある。</p>																															

助成事業 No.2

< 平成27年度 > (東区 区振興課)

現 状	完了
-----	----

事業名	有玉伝統文化継承事業(流鏑馬・獅子舞)			
実施団体名	有玉伝統文化継承事業流鏑馬実行委員会			
事業の目的	徳川家康公から有玉の高林家に馬を寄進されたことから、流鏑馬が行われるようになった。獅子舞を含め、400年の歴史を引き継ぐ伝統文化として、より多くの市民に知っていただきたい。今後も区民の交流や魅力ある区づくり、まちづくりに寄与するために活動する。			
事業の成果 (内容)	<p>【内容】 流鏑馬、獅子舞の伝統行事の実施。 併せて、有玉小と積志小の児童に、流鏑馬等、伝統文化に関する絵をかいてもらい、境内に展示する。</p> <p>【成果】 実施日:平成27年10月11日(日) 会場:有玉南町 有玉神社 来場者:3,000人以上</p> <p>《流鏑馬》一の馬、二の馬、三の馬と3頭の馬を用いる元来の実施形態で、一番の矢から三番の矢を的に向かって交互に射ち、勝敗を競った。 《獅子舞》獅子舞の笛や太鼓は、有玉小学校児童15人も練習し、小学生による獅子舞も披露した。 《絵画展》有玉小学校・積志小学校の児童に流鏑馬等、伝統文化に関する絵を描いてもらい、全てを会場に掲示した(166枚)。</p>			
総事業費(円)	430,742	補助金額(円)	140,000	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高い)	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	(高い)	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	(普通)	低い
	4) 費用対効果	(高い)	普通	低い
意見等				
<p>・徳川家康公に由来する流鏑馬と獅子舞を組み合わせた有玉地域の伝統文化を、次世代に伝えるべく実施しており、文化振興事業、地域コミュニティづくり事業である。</p> <p>・伝統文化に関する児童の絵画展などを実施し、複数の手段で、地域文化に触れ、再認識するきっかけづくりとなっている。</p> <p>・地域と学校(児童)が連携することで、地域の伝統文化を継承することができる事業である。今後、中学生や高校生など若者と連携し、地域の伝統文化に触れる機会を増やし、地域の交流がさらに進むことを期待する。</p>				

助成事業 No.3

< 平成27年度 > (東区 区振興課)

現 状	完 了
-----	-----

事業名	遊休農地を利用してそば作りで地域の活性化			
実施団体名	地域の食の自給率を上げる会			
事業の目的	色々な事情で農地を管理できないことは、地域にとって決して好ましいことではない。これらの農地を借りて、地域の有志の協力でそばを栽培し、地域の交流を行う。また、北遠地区の方々と交えてそば打ちを行い、各種団体との交流を図ること。			
事業の成果 (内容)	<p>【そばの栽培】 8月頃～ 遊休農地を耕作 9月下旬 種まき 12月 収穫 (毎回会員3、4人が参加)</p> <p>・地域にある遊休農地のうち、約1,800㎡を利活用することができた。収穫量は約30kgであった。</p> <p>【そば打ち体験会】 2月15日 中ノ町小学校(参加者4年生50人) 2月17日 天竜協働センター(参加者54人、見学者を含めると約80人)</p> <p>・そば打ち体験会の写真を天竜協働センターに掲示した。</p>			
総事業費(円)	200,975	補助金額(円)	80,000	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高)い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	(高)い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高)い	(普)通	低い
	4) 費用対効果	高)い	(普)通	低い
意見等				
<p>・遊休農地を利用して、そばを栽培・収穫した後、小学生や地域住民等とそば打ち体験を通じて交流する内容であり、地域コミュニティづくり事業、地域の特性を生かしたまちづくり事業である。</p> <p>・遊休農地(約1,800㎡)を利用して、そばを栽培し約30kg収穫することができた。また、そば打ちの講師である北遠の団体とも継続して連携しており、そばが人と人、地域を結んでいる。また、そば打ち体験を通じて、小学生や地域住民との交流が行われた。</p> <p>・今後も、そば打ち体験会など、多くの方がこの事業に参加し、より広く交流が進むことを期待する。</p>				

助成事業 No.4

< 平成27年度 > (東区 区振興課)

現 状	完了
-----	----

事業名	大船渡市から学ぶ地域防災と大船渡応援イベントの開催			
実施団体名	大船渡応援イベント委員会			
事業の目的	東日本大震災の被災地である大船渡市と交流し、三連動の地震が想定される本地域における地域防災力の強化に活かす。併せて、浜松市が支援する大船渡市の復興支援イベントを行う。			
事業の成果 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日:平成27年11月1日(日) ・会場:遠州鉄道 遠州西ヶ崎駅 南側空き地 ・来場者数:約4,100人(過去最高) ボランティア数:約300人 ・地域防災講座 中郡中学校生徒による防災学習発表 防災出前講座の実施(防災クイズ) ・震災体験講話 大船渡超喜来の語り部 熊谷満枝 氏による震災体験講話 ・写真展 大船渡市の被災・復興写真を展示 ・復興支援 さんま炭火焼、おにぎりの無料配布など 中郡中学校生徒による大船渡市の物産販売や募金活動 ・地元有志による大船渡応援イベント(和太鼓・踊り・奇術など) ・大船渡市から学ぶ地域防災として、中郡中学校生徒による防災学習発表、大船渡市の「復興写真」の展示、震災体験の発表等を実施したことで、多くの地域住民に大規模地震に対する啓発を行うことが出来た。 ・ボランティアスタッフは、地域住民をはじめ中郡中学校生徒が参加。当初は20人程度の生徒の参加を見込んでいたが、38人が参加し、中学生が防災に関わる貴重な機会となった。 ・今年度は常葉大学のボランティアサークルと連携し、イベントの企画や当日の舞台の進行などを協働して行った。また、地域で防災について考え、同じく被災地支援を行っている団体ともつながりを持ち、交流が広がった。 			
総事業費(円)	1,345,093	補助金額(円)	550,000	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高)	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	(普通)	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	(普通)	低い
	4) 費用対効果	(高)	普通	低い
意見等				
<p>・地域の防災力の強化と大船渡市の復興支援を目的として実施しており、地域コミュニティづくり事業、安全安心な地域づくり事業である。</p> <p>・中郡中学校生徒による大船渡市の物産販売や募金活動により地域住民との交流の場となっていた。</p> <p>・地域住民など300人程度がボランティアスタッフとして参加していることや、大船渡市との交流が引き続き行われていること等、地域の絆やつながりの強化が伺える。</p> <p>・今回は「地域防災」に重点をおいて取り組みを行った。中郡中学校生徒が防災学習に取り組み、被災地のことだけでなく、自分たちの防災について考え発表した。また、常葉大学のボランティアサークルと連携し、イベントの企画や当日の舞台の進行などを協働して行った。「地域防災」の重要な担い手となる学生と地域団体の協働により、重要なネットワークが形成された。</p> <p>・今までと会場を変えたこともあり、過去最高の4,100人が来場しより多くの住民に啓発ができた。しかし、対応できる人数を超えてしまい、会場に入る前に諦めて帰ってしまう人がいた。対応ができれば、4,100人以上の方々に啓発が行えたため、今後、実施の仕方を工夫する必要がある。</p>				

助成事業 No.5

< 平成27年度 > (東区 区振興課)

現 状	完了
-----	----

事業名	平成27年度 蒲ザクラまつり			
実施団体名	蒲ザクラの里実行委員会			
事業の目的	蒲地区のシンボル花である「蒲ザクラ」を、芳川沿いに植樹し蒲ザクラの名所とするため、バイオテクノロジーで増殖した苗木を地域住民の手で植樹する。このことにより、「蒲ザクラ」を通じて人と人の絆や交流を促進する。			
事業の成果 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・蒲ザクラまつりの開催 開催日 平成27年4月5日(日) 開催場所 芳川沿い(蒲小学校、サーラプラザ浜松) 内容 地域歴史クイズ&スタンプラリー、写真コンテストの募集 参加人数 約100人 ・蒲ザクラの里杯グラウンドゴルフ大会 開催日 平成27年5月26日(火) 開催場所 大蒲公園 参加人数 約100人 ・平成27年度植樹(24本) 実施日 平成27年11月22日(日) 実施場所 芳川沿い(上西橋周辺) 参加人数 40人(自治会関係者など) ・蒲ザクラ手作りカルタ大会 開催日 平成27年11月28日(土) 開催場所 蒲協働センター(蒲協働センターまつり) 参加人数 約80人(大人の部・子どもの部合わせて) 同時に写真コンテストの表彰も行った。 <p style="color: red; margin-top: 10px;"><蒲ザクラ手作りカルタの活用> ・作成した1000個がほぼ完売し、各家庭では親子でカルタを楽しんだという声が沢山聞かれた。 ・各世帯のほか地元企業も買ってくれた。また、協働センターでもカルタを活用した事業が行われている。 ・蒲小学校の授業(地域を育む教育)でカルタを使うことになった。</p>			
総事業費(円)	1,194,281	補助金額(円)	580,000	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高い)	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	(高い)	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	(普通)	低い
	4) 費用対効果	(高い)	普通	低い
意見等				
<p>・地域のシンボル花「蒲ザクラ」を地域住民の手で植樹し、「蒲ザクラ」を通じて人と人との交流も活発にする内容であり、地域の特性を生かした事業、地域コミュニティづくり事業である。</p> <p>・今年度は、蒲ザクラにちなんだイベントが開催され、地域交流がなされている。また、蒲地区をテーマとした読み文を住民から募集し、東区ゆかりのイラストレータの絵と合わせて「蒲ふる里カルタ」を作成、カルタ大会が行われ、地域の歴史・文化に住民が触れる機会となっている。当初の計画よりも、幅広い範囲でカルタが活用され、地域に根付いている。</p> <p>・また、昨年度に引き続き、芳川沿いで「蒲ザクラ」植樹活動が行われている。</p> <p>・将来、「蒲ザクラ」の美しい花が咲き、より広い範囲で花見が出来るようになれば、さらに地域交流も深まると考えられる。</p> <p>・蒲ザクラが大きく育ち満開になるまでには長い年月を要するため、今後も、長期的な活動を続けていくことが期待される。</p>				

助成事業 No.6

< 平成27年度 > (東区 区振興課)

現 状 完了

事業名	家庭、学校、地域の三位一体による人間形成力向上事業			
実施団体名	東区自治会連合会			
事業の目的	昨今では、道徳を新たに教科化する提案がなされるなど、人間形成への対応の模索がなされている。誰もが安心して暮らせる地域コミュニティの形成のために、家庭、学校、地域が三位一体となった「人間形成」の役割について考える機会を地域住民に提供すること。			
事業の成果 (内容)	<p>第1回講演会開催 開催日 平成27年6月14日(日) 14:00～15:00 会 場 浜松市総合産業展示館 北館4階 1号ホール 講 師 公益財団法人モラロジー研究所 社会教育講師 松家 俊夫 氏 聴講者 学校保護者、学校関係者、自治会関係者等 222人 テーマ 良い子が育つ親の役割 <参加者の声> ・話の内容は、子育てのポイントとなるものでした。 ・50分間の公演では短かったです。体験談などを含めて、もう少し掘り下げた話が聞きたかったです。</p> <p>第2回講演会開催 開催日 平成28年2月14日(日) 14:00～15:30 会 場 浜松市総合産業展示館 北館4階 1号ホール 講 師 特定非営利法人サプライズ 飯倉 清太 氏 聴講者 学校保護者、学校関係者、自治会関係者等 169人 テーマ さまざまな視点から考えるまちづくり ～高校生とのゴミ拾いの話から人材育成～ <参加者の声> ・子供のうちから、さまざまな実体験を通じて地域に関わることで、自分の育った地域を誇りに思い、地域のために力を尽くすことのできる人材が育つと思います。 ・これからのコミュニティ活動、人材育成に役立つ話でありました。</p>			
総事業費(円)	212,310	補助金額(円)	106,000	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高い)	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	(普通)	低い
	3) 財政支援の必要性	(高い)	普通	低い
	4) 費用対効果	(高い)	普通	低い
意見等				
<p>・第1回は、次世代を担う子どもたちが健やかに成長するために、親の役割についての講演会を開催した。講演内容は、子育てのポイントであり、小中学生の保護者、学校教師、自治会関係者など幅広い方に参考になった。</p> <p>・第2回は、高校生とのゴミ拾いの話から、人材育成・地域活性化を考える講演会を開催した。参加者からは「今後のコミュニティ活動、人材育成を考えるうえで、とても参考になった」と言う声が聞かれた。先進的なコミュニティ活動の事例や運営の仕方を知ること、人間形成の新たな着想や、家庭、学校、地域のあり方、三位一体となったコミュニティづくりを通じて人間形成や人材育成に関する活動の発展が期待できる。 また、今後、団体間、個人間、団体と個人など、地域の様々な構成員による新たな協働が形成されるきっかけになることを期待したい。</p>				

助成事業 No.7

< 平成27年度 > (東区 区振興課)

現 状	完了
-----	----

事業名	防災カフェ&「被災地から希望を乗せて」講演会・ライブコンサート			
実施団体名	NPO法人 積志かがやきカフェ			
事業の目的	浜松市の支援先である大船渡市への支援活動を継続して実施していくとともに、住民のための防災講座「防災カフェ」や防災講演会を展開することによって、住民の防災意識の高揚、防災機能のレベルアップを図り、地域に根ざした防災対応、安全安心な町づくりの推進を行うこと。 また、災害発生時、救援活動の担い手として期待される小学校高学年、中・高校生にも積極的に参加してもらい、地域の救援活動に貢献することの大切さを学んでもらい、いざというときの即戦力になれるよう育成していくこと。			
事業の成果 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災カフェ「危機管理いつやるの?今でしょう」の開催(全5回) 場所:有玉北町 珈楽庵 第1回:平成27年4月22日(水)、第2回:平成27年10月14日(水)、第3回:平成28年1月27日(水) 第4回:平成28年2月10日(水)、第5回:平成28年2月17日(水) テーマ:「市防災計画を学ぶ～あなたも地域の防災リーダー～」 「いざという時に役立つ防災グッズ」 「区版避難行動計画を読む～地域を知り、安全な避難を～」 「あれから4年、今被災地は。安全安心なまちづくり談義」「年間活動報告」など 参加者:各回、20名程度が参加 ・被災地支援・防災のための講演&コンサート及び救援募金活動 日時:平成27年8月8日(土) 10:00～12:00 会場:積志協働センター 参加者:186人 演題:「被災地から希望を乗せて～今伝えたいこと～」 講師及び演奏者 大船渡市立大船渡中学校長 金 賢次 氏 前大船渡市立大船渡小学校長 柏崎 正明 氏 ・地域防災教室 日時:平成27年11月1日(日)12:30～ 場所:遠州鉄道 遠州西ヶ崎駅 南側空き地 参加者:約200名 地域防災に取り組んでいる別団体のイベントステージで「地域防災教室」を開催 			
総事業費(円)	312,223	補助金額(円)	150,000	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高い)	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	(高い)	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	(普通)	低い
	4) 費用対効果	(高い)	普通	低い
意見等				
・地域住民のための防災講座等を実施し、防災意識の高揚、防災機能のレベルアップを図る内容であり、地域コミュニティづくり事業、安全安心な地域づくりに関する事業である。 ・地域住民が防災について気軽に語り合える「防災カフェ」は防災意識の高揚には役立ち、防災を身近に感じることが出来る。また、定期的に行っていることは非常に重要である。しかし、「防災カフェ」は、会場の規模や内容の濃さを考えると、参加人数が限られてしまう。話し合った内容を多くの地域住民と共有できる仕組みを期待する。 ・地元中学生が受付等の手伝いや救援募金活動を行っており、「児童・生徒に活動に参加してもらおう」という事業目的に合致した内容だった。今後、「児童・生徒を地域の救援活動に貢献できるように育成」していくために、学校との連携を含めた、もっと子供たちを巻き込んでいくことを期待する。				

助成事業 No.8

< 平成27年度 > (東区 区振興課)

現 状	完 了
-----	-----

事業名	地域若者コミュニティづくり事業～和太鼓に触れて～			
実施団体名	笠井町の未来を考える会			
事業の目的	若者が中心となり、地域イベントを企画・実施し、地域に根付いた若者のコミュニティをつくることで、自分達の住む町の未来を考え行動する機会を創出すること。 和太鼓の演奏を通じて、日本の伝統芸能に普段接することの少ない子ども達やその親世代には触れる機会を、お年寄りには昔を懐かしみ楽しむ機会をつくること。			
事業の成果 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・天竜高等学校の和太鼓部による和太鼓演奏会の開催 実施日 :平成27年8月15日(土) 実施場所①:笠井春日神社 12:50～ 観客300人 実施場所②:リブロス笠井 14:20～ 観客200人 ・笠井町在住の若者が初めてイベントを企画・実施したことで、集い話し合いをする機会が増え、若者が地域について主体的に動く機会となった。また、会員以外でも共感して当日手伝いをしてくれた方もいて、地域の交流が深まった。 ・今回のイベント和太鼓の演奏を通じて、多くの町民に日本の伝統芸能に触れてもらうことができた。 ・今回は、笠井町内以外へのチラシ配布ができず、他町への宣伝が不十分であったため、次回以降は早めに準備を進めていきたいとの報告があった。 ・高校生に和太鼓を教える天竜龍勢組と交流の場となり、地域間交流の第一歩となった。 			
総事業費(円)	141,875	補助金額(円)	69,000	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高)い	普通	低
	2) 事業目的の達成度	(高)い	普通	低
	3) 財政支援の必要性	高	(普)通	低
	4) 費用対効果	高	(普)通	低
意見等				
<p>・地域の若者が中心となり、地域イベントを企画・実施し、地域に根付いた若者のコミュニティをつくることで、自分達の住む笠井町の未来を考え行動する機会とすることを目的とした事業である。また、和太鼓の演奏会を通じ、伝統を継承していく人材の育成、地域間交流の場となるため、文化振興事業、地域コミュニティづくり事業である。</p> <p>・町内の若者が初めてイベントを企画・実施したことで、若者同士集い話し合いをする機会や若者と長老の話し合いの場が増え地域内の結束が強まった。</p> <p>・高校生に和太鼓を教える天竜龍勢組と交流の場となり、地域間交流の第一歩となった。また、今回のイベント和太鼓の演奏を通じて、子どもをはじめとする多くの町民が日本の伝統芸能に触れることができた。</p> <p>・今後、実施する際には、他町への広報を強化することで、隣接地域への波及と町間交流を促進するような工夫や、子どもたちが実際に体験できる仕組みを考え、伝統文化を深く伝えていく取り組みが期待される。</p>				

区民活動・文化振興事業 No.1

< 平成27年度 > (東区 区民生活課)

現状 完了

事業名	第7回東区长杯キンボールスポーツ大会			
事業の目的	区民の大人から子供まで誰もが参加でき、手軽に楽しめるキンボールスポーツの普及を通じて、区民のスポーツ振興及び各地域間の親睦を図ることを目的とする。			
事業の成果 (内容)	<p>スポーツ振興、地域間の親睦を図るため、東区长杯キンボールスポーツ大会を開催した。 区民等に大会種目であるキンボールスポーツの競技紹介、ルールの確認、実技指導等を周知するため、キンボールスポーツ教室及び審判講習会を行った。</p> <p>【第7回東区长杯キンボールスポーツ大会】 開催日：平成28年3月20日(日) 会場：浜北総合体育館(グリーンアリーナ) 大人の部(17チーム)、低学年混合の部(6チーム)、高学年女子の部(5チーム)、高学年男子の部(5チーム)の計33チーム、競技参加者280人による白熱した試合が行われた。</p> <p>【キンボールスポーツ教室・審判講習会】 期間：7月～3月 東区内5協働センター・4小学校体育館で12回開催。 キンボールスポーツ教室を12回開催し、うち教室に合わせて審判講習会を5回開催した。一般参加者は308人が参加した。</p>			
総事業費(円)	決算(見込)額	365,000		
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ(地域課題・地域資源)	高い	普通	低い
	2) 事業の公益性	高い	普通	低い
	3) 事業の効果	高い	普通	低い
4) 経済性(費用対効果)	高い	普通	低い	
意見等				
<p>・東区スポーツ推進委員が、各々の校区ごとに教室・審判講習会場の確保と地域へのPR及び参加者確保、審判技術の向上、校区チームづくりへの呼びかけ(主として小学生チーム)を行うことにより、地域との連携を深めた。</p> <p>・大会における審判員の技術向上を図るため、昨年度まで年3回であった審判講習会を年5回に増やし資質向上を図った。</p> <p>・第7回大会の開催時に実施したアンケートによると、70.5%の方から大会に参加して「楽しかった」、59.1%の方が「次回も参加したい」との回答をいただいた。アンケート意見を参考に、今後の大会運営に活かし、より大会に参加してよかったと思う大会としていきたい。(アンケート回収枚数88枚)</p> <p>・来年度の第8回大会は、東区にある浜松アリーナで開催する。</p>				

区民活動・文化振興事業 No.2

< 平成27年度 > (東区 区民生活課)

現 状	完了
-----	----

事業名	『東区・家康公ゆかりの里』推進事業			
事業の目的	浜松市におけるシティプロモーションのテーマである「出世の街 浜松」の発信に寄与し、東区内の「家康公ゆかりの里」推進事業の認知度の向上と地域住民の文化的な資質の向上及び交流人口の増加、地域コミュニティ意識の醸成を目的とする。			
事業の成果 (内容)	<p>【家康楽市参加事業】 東区が地域資源の活用による特色あるまちづくりとしていままで取り組んできた事業をPRする場として、家康楽市へ出展する。</p> <p>実施日：平成27年10月24日(土)・25日(日) 9:00～16:00 会 場：浜松城公園駐車場 ブース内容：徳川家康公と東区に関する歴史の紹介パネル展示、東区家康公ゆかりの里マップの配布、東区家康公伝説検定の実施、「歴史街道文化振興事業」「俳句の里づくり事業」「東の細道」「絵ばなし」などの事業紹介コーナーの設置。 検定参加者数：838人</p> <p>【歴史講演会開催事業】 著作やテレビをはじめとした様々なメディアで活躍中の静岡文化芸術大学教授 磯田道史氏による歴史講演会を開催する。「東区・家康公ゆかりの里」推進事業を、広く知ってもらうため、家康公やそのゆかりの武将などこの地の戦国時代の様子をお話しいただき、市民の方々へ本事業に関する意識を高めてもらう。</p> <p>開催日：平成27年12月13日(日) 14:00～えんてつホール 講師：磯田道史氏(静岡文化芸術大学教授) 講演目：「大河ドラマおんな城主直虎に向けて」 入場者数：約470人</p>			
総事業費(円)	決算額	800,280		
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ (地域課題・地域資源)	(高)い	普通	低い
	2) 事業の公益性	高)い	(普)通	低い
	3) 事業の効果	(高)い	普通	低い
	4) 経済性 (費用対効果)	(高)い	普通	低い
意見等				
<p>・家康楽市への参加は、家康公とゆかりのある東区内の史跡等のパネル展示やまち歩きマップの配布、東区が取り組んでいる事業紹介を行い、併せて東区に伝わる家康公に関するクイズを「東区家康公伝説検定」として実施した。検定参加者には「家康くん缶バッジ」を配布し集客効果もあり、2日間で838人の参加者があった。</p> <p>・歴史講演会は、講師を磯田道史教授に依頼し4回目となる。本年度の演題は「大河ドラマおんな城主直虎に向けて」と話題性もあり、入場者数も昨年度より多い約470名の方々に聴講いただき、好評を得た。</p>				

区民活動・文化振興事業 No.3

< 平成27年度 > (東区 社会福祉課)

現 状 完了

事業名	東区地域福祉講演会			
事業の目的	住み慣れた地域で安心して住み続けることができるまちづくりのために、地域住民、自治会、民生委員児童委員、福祉施設職員等が、何ができるか学び、地域福祉の向上に資することを目的とする			
事業の成果 (内容)	<p>【東区地域福祉講演会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成27年9月28日(月) ・会場 浜松市総合産業展示館 北館 4階 1号ホール ・講演内容 <ul style="list-style-type: none"> ①テーマ:「振り込め詐欺の被害に遭わないために」 講 師:地域安全推進員女性部 ②テーマ:「交通事故の被害者にならないために」 講 師:浜松東警察署交通官 警視 安川善邦氏 ・参加者 270人 地域住民、自治会、民生委員児童委員、福祉施設職員、社会福祉協議会等 ・成果 特殊詐欺の被害や交通事故に遭わないよう、それぞれの特徴や注意点について、周知することができた。参加者が、地域での広報・啓発活動(声かけ等)を推進する動機づけとなり、地域福祉の向上に役立てることができた。 			
総事業費(円)	決算額	230,000		
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ (地域課題・地域資源)	高い	普通	低い
	2) 事業の公益性	高い	普通	低い
	3) 事業の効果	高い	普通	低い
4) 経済性 (費用対効果)	高い	普通	低い	
意見等				
<p>・平成20年度から、「地域福祉講演会事業」として継続して実施してきた。 今年度の講演会開催時に実施したアンケートによると、93%の方から、「大変よかった」「よかった」との回答を得た。 (アンケート回収数 178)</p> <p>・平成28年度以降についても、事業の認知度を向上させるとともに、更に関係団体との連携を強化させ、地域における身近な課題をテーマとした講演会を開催したい。</p>				

区民活動・文化振興事業 No.4

< 平成27年度 > (東区 区振興課・長寿保険課)

現状 完了

事業名	東区大型商業施設との連携事業			
事業の目的	浜松市や東区が推進する事業や地域住民の活動をPRする場として活用することにより、多くの市民にPRする。			
事業の成果 (内容)	<p>※会場は、いずれもイオンモール浜松市野</p> <p>①防災啓発のPR展(区振興課) 実施日:平成27年8月6日(木) 10:00~15:00 東消防署と連携し「東区消防・防災フェア」を実施した。 ・消防車両(ハンゴ車・フロアー車・救助工作車・救急車・消防車)の展示及び乗車体験など ・防災に関する資料と啓発物品の配布 190人(アンケート回答者数)</p> <p>②おじいちゃん・おばあちゃんのための作品展(長寿保険課) 実施内容 笠井小学校児童の絵画作品をおじいちゃん・おばあちゃんへのメッセージ入りで展示。 ・実施日 : 平成27年9月11日~17日 ・内容 : 笠井小学校児童184人(191点)の絵画とメッセージを展示。</p> <p>※交通安全に関わる啓発事業については、「東区交通安全声かけ運動」に含む。</p>			
総事業費(円)	決算額	52,460	区振興課:予算なし 長寿保険課:52,460円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ(地域課題・地域資源)	高い	普通	低い
	2) 事業の公益性	高い	普通	低い
	3) 事業の効果	高い	普通	低い
4) 経済性(費用対効果)	高い	普通	低い	
意見等				
<p>①防災啓発のPR展(区振興課) ・集客力のある大型商業施設で実施したことにより、「防災」「減災」について多くの住民にPRすることができた。</p> <p>②おじいちゃん・おばあちゃんのための作品展(長寿保険課) ・敬老の日を中心として、児童がかいた絵画とメッセージを展示することで、敬老の日の意識高揚を図ることができた。</p> <p>大型商業施設において、啓発事業を行うことは多くの方に情報を発信することができるため、今後も継続して実施する。</p>				

区民活動・文化振興事業 No.5

< 平成27年度 > (東区 区振興課)

現状 完了

事業名	東区市民映画音楽祭2015			
事業の目的	東区の音楽分野の地域資源を発掘・活用した「映画音楽祭」を実施し、区民主体の地域づくりを実践するとともに、実行委員会による運営により地域の市民力を発揮・育成する機会とする。 また、老若男女が親しめる映画音楽をキーワードとし、東区の地域資源の活用による特色あるまちづくりを推進し、住みよい地域社会の実現や、人の和、地域の絆の構築を目的とする。			
事業の成果 (内容)	<p>・映画音楽祭の開催 開催日:平成27年11月8日(日) 13:00~15:00 開催会場:浜松日体中・高等学校 第1体育館 来場者等:400人 開催内容:第1部 アンサンブル・ムジーク弦楽合奏団の演奏 第2部 浜松日体中・高等学校吹奏楽部の演奏 第3部 村松崇継さん(東区出身)と山下由紀子さんによる演奏</p> <p>・実行委員会の開催 第1回:平成27年6月11日(木) 議事内容:企画概要、予算についての説明</p> <p>第2回:平成27年8月24日(月) 議事内容:企画内容、広報についての報告</p> <p>第3回:平成27年10月26日(月) 議事内容:開催日当日の説明及び緊急連絡体制の確認</p> <p>第4回:平成28年3月24日(木) 議事内容:事業完了に伴う実績及び決算報告</p>			
総事業費(円)	決算額	1,300,000	総事業費 1,660,141円(負担率78%) ※差額は企業協賛など	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ(地域課題・地域資源)	高い	普通	低い
	2) 事業の公益性	高い	普通	低い
	3) 事業の効果	高い	普通	低い
4) 経済性(費用対効果)	高い	普通	低い	
意見等				
<p>・地域住民(小学生から高齢者)が、地元出身演奏家の演奏を楽しむことにより、地元出身で活躍する芸術家を応援するとともに、音楽を通じて東区の活性化に寄与できた。</p> <p>・地域での音楽イベントを実施したことにより、浜松市が加盟した「ユネスコ創造都市ネットワーク」音楽分野の理念を具体化できた。</p> <p>・来場者がプロの生の演奏等に触れることで、音楽に対する興味・関心を向けさせ「音楽の都・浜松」の盛り上げに貢献できた。</p> <p>・集客について、効果的な方法の検討が必要である。</p>				

事業名	東区”匠の技”講座			
事業の目的	地域にゆかりのある方で、専門的な技術をもった「匠」の先生を講師に招いて講座を実施することで、地域内で新たなコミュニティの醸成を促すとともに、受講者に匠の技を体験してもらうことで、地域の新たな一面を発見し、住民が地域に対して持つ誇りと愛着を強くすることを目的とする。			
事業の成果 (内容)	<p>東区内の各協働センターにて、デッサン教室、書初め教室、及びものづくり教室の2時間講座を実施。東区在住で、地域で定評のある方を講師として招き、受講者には技能体験をもらったり講師のお話を聞いてもらう。講師の方々は通常の協働センターの生涯学習講座では講師として活動しておらず、今回の講座では普段とは違った内容を体験できる。各講座の内容は以下のとおり。</p> <p>①「えんぴつで絵を描いてみよう」(デッサン教室) 実施日:平成27年12月7日(月) 会場:積志協働センター 定員:15人 応募:7人 受講:6人 鉛筆デッサンで地域風景を描いた本を出版した方を講師に招いて実施。受講者は講師の話の聞いたり作品を見た後、描画を実践した。</p> <p>②「冬休みの書初め教室」 実施日: 会場: 参加人数: i,平成27年12月24日(木) 笠井協働センター 定員:30人 応募:39人 受講:28人 ii,平成27年12月25日(金) 長上協働センター 定員:30人 応募:43人 受講:29人 iii,平成27年12月28日(月) 天竜協働センター 定員:30人 応募:46人 受講:28人 書家の先生を講師に招いて、小学生を対象とした書初め教室を実施。低学年の子どもも参加し書道に親しんだ。</p> <p>③「立体おりがみ講座」 実施日:平成28年1月16日(土) 会場:蒲協働センター 定員:24人 応募:17人 受講:16人 ボランティアや文化活動に造詣が深い方を講師に招いて実施。地域の子どもが折り紙を使った立体像の作成に取組んだ。</p>			
総事業費(円)	決算額	175,004		
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ (地域課題・地域資源)	高い	普通	低い
	2) 事業の公益性	高い	普通	低い
	3) 事業の効果	高い	普通	低い
4) 経済性 (費用対効果)	高い	普通	低い	
意見等				
<p>①受講者は全員、積志地区の住民であったが、先生の本を見せると地域風景の違った見え方に感心しており、地域の魅力の再発見に寄与することができた。受講者全員がデッサンの初心者であったが、最後には自分の手で作品を完成させていた。先生の教え方も優しく分かりやすいと好評だった。</p> <p>②地域の小学生生徒を対象としたが、各回で募集の定員を超える応募があった。子どもたちは楽しみながらも真面目に書道に取り組んでおり、地域を担う子どもの教育に貢献することができた。先生の指導は礼儀作法から覚えられるよう、冗談をまじえながらもめりはりのあるもので、見学に来ていた父兄にも満足いただけたようであった。</p> <p>③小学4年生から幼稚園年長まで、地域の様々な年代の子どもが参加した。講師は、国際的なボランティア活動で勲章の受章歴もある地域住民で、日頃は協働センターや小学校での文化活動にも取り組んでいるため、教え方も丁寧でかつおもしろく、子どもたちも熱心に取り組んでいた。年上の子が年下の子に教えるというような、学年の枠を越えた触れ合い・助け合いの様子も見られた。</p>				

区課題解決事業 No.1

< 平成27年度 > (東区 区振興課)

現 状	完了
-----	----

事業名	東区 交通安全声かけ運動 ～交通事故ワースト1脱出大作戦～			
事業の目的	交通事故の件数を減少させ、政令指定都市における交通事故件数ワースト1から脱出するため、交通事故防止に関する啓発事業を展開する。			
事業の成果 (内容)	<p>○交通事故削減に関する意識啓発の実施 春・夏・秋・年末における交通安全運動実施中の街頭広報(春97人・夏180人・秋130人・年末193人) 毎月10日の「市民交通安全の日」における街頭広報(毎回30人程度 4月～3月に9回実施) 道路交通法改正法施行の周知のための街頭広報(天神町交差点30人) 交通死亡事故多発交差点(エディオン半田町店付近交差点)における街頭広報(40人年2回) 高校生に対する自転車マナー向上キャンペーンに伴う街頭広報(日体高校38人・浜松東高校44人) 積志地区セーフティ・ガード作戦における、民生委員との連携事業(高齢者宅訪問による交通安全啓発活動)</p> <p>○東区交通安全フェア 開催日程:平成28年1月11日(月) 14:00～17:00 開催場所:イオンモール浜松市野 シンフォニーコート 開催内容:交通安全指導員による寸劇及び交通安全クイズ 啓発品配布、パネル展示 静岡県警察音楽隊の演奏 浜松市立天竜中学校吹奏楽部の演奏 来場者:延べ1,000人</p>			
総事業費(円)	決算額	489,672		
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ (地域課題・地域資源)	(高い)	普通	低い
	2) 事業の公益性	(高い)	普通	低い
	3) 事業の効果	高い	(普通)	低い
	4) 経済性 (費用対効果)	高い	(普通)	低い
意見等				
<p>・自治会や地域団体からの街頭広報参加者が増加し、住民一人ひとりの交通安全意識の高揚が見られる。 ・東区交通安全フェアでは、大型商業施設を会場にすることで、幅広い年齢の対象者に啓発活動を行うことが出来た。また、休日開催にすることにより、より多くの市民への広報を行うことができた。 ・参加者には、自発光式反射材などを配布し、交通安全や交通事故削減に関する意識の高揚を図ることができた。</p>				

区課題解決事業 No.2

＜ 平成27年度 ＞ （ 東区 健康づくり課 ）

現 状	完 了
-----	-----

事業名	健康力アップ in 東区			
事業の目的	健康づくりの意識の向上を図り、区民の健やかな生活の支援を行う。			
事業の成果 (内容)	<p>【開催場所】 区内食品関連事業者 3店舗で実施 (マックスバリュ浜松和田店・遠鉄ストア笠井店・イオン浜松市野店)</p> <p>【実施内容】 食生活、口腔衛生、運動といった生活習慣が大切であることを、区民が楽しみながら健康づくりの情報を入手できるようなイベントの実施。 ①野菜350グラム当てようクイズ ②子供向け野菜名前当てクイズ ③慢性腎臓病(CKD)予防啓発(血圧測定等) ④歯科クイズ ⑤健康に関する情報のチラシを配布 ⑥健康パネルやPOP等で健康情報の掲示 ⑦アンケート調査</p> <p>【実施結果】マックスバリュ浜松和田店 平成27年6月11日(木) 10:00～12:00 啓発人数 100人 遠鉄ストア笠井店 平成27年6月22日(月) 9:30～12:00 啓発人数 200人 イオン浜松市野店 平成27年6月27日(土) 12:00～15:00 啓発人数 421人 計 721人</p> <p>店舗との協働で、一般市民に対し、健康保持増進や生活習慣病予防について広く啓発することができた。</p>			
総事業費(円)	決算額	183,428		
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ (地域課題・地域資源)	(高)い	普通	低)い
	2) 事業の公益性	(高)い	普通	低)い
	3) 事業の効果	(高)い	普通	低)い
	4) 経済性 (費用対効果)	(高)い	普通	低)い
意見等				
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新規店舗が加わり、より多くの区民に対し健康づくりの啓発を実施することができた。 ・店舗での事業実施は生活の中で大変身近な場所なので、健康づくりにあまり関心のない区民に対しても広く関わることができたと思われる。 ・店舗との協働実施ということで、区民がより関心を持って参加してもらえるよう協力をいただいた。 ・今後も生活習慣病予防の対策等健康づくりの推進のために、店舗等と協働で魅力ある事業内容を検討し、市民に対し地道に普及啓発を行い健康寿命延伸の一助となるよう実施していきたい。 				

区課題解決事業 No.3

< 平成27年度 > (東区 健康づくり課)

現状 完了

事業名	ノルディック・ウォークで健康力アップ			
事業の目的	健康はままつ21の目標である健康寿命の延伸を図るために、効果的な運動方法であるノルディック・ウォークを通じて地域の高齢者の健康づくりを図る。また、地域の健康づくりの中心的な役割を担っていく人材を育成し、地域の健康づくりを推進していくことを目的とする。			
事業の成果 (内容)	<p>【対象】ノルディック・ウォークの経験があり、地域や高齢者の健康づくりに関して関心がある者及びすでに高齢者の健康づくりに関する事業に携わっている者</p> <p>【内容】ノルディック・ウォークのステップアップの講義及び実技指導を3回コースで実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノルディック・ウォークに関する基礎知識 ・高齢者に適したノルディック・ウォーキングの指導方法 ・ウォーミングアップ体操、クールダウン体操 ・ポールを活用したストレッチ体操 <p>1 実施状況 会場：東部保健福祉センター 開催日：3回で1コース 合計 延べ55人の参加者 第1回 平成27年10月19日(月) 参加者21人 第2回 平成27年10月26日(月) 参加者21人 第3回 平成27年11月9日(月) 参加者13人 計 55人</p> <p>2 結果 参加者の年齢は、60～70歳代が全体の77%を占めており、参加者の90%がセミナーの内容に関して満足というアンケート結果であった。また、ポールの有無による歩幅アップの効果や運動量の増加を実感し、セミナー終了後もノルディック・ウォークを継続できている参加者が多い。</p>			
総事業費(円)	決算額	90,000		
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ(地域課題・地域資源)	高い	普通	低い
	2) 事業の公益性	高い	普通	低い
	3) 事業の効果	高い	普通	低い
4) 経済性(費用対効果)	高い	普通	低い	
意見等				
<p>・参加者は、セミナーでの歩行体験により、ポールを使うことにより通常歩行よりも腰、ひざ及び足首への負担が少なく、また、頭部下の筋力運動量が増加することにより、効果的に運動ができたとの感想が多く、事業終了後も、ノルディック・ウォークを継続している者も多い。</p> <p>・地域の中で、運動を日常生活に取り入れていく必要性を理解するという目的は、ほぼ達成されたと思われるが、地域の中でリーダーとなって呼びかけていくというよりも、個人や仲間継続して取り組みたいという声が多かった。また、積志地区の参加者からは、地元でセミナーを開催してほしいとの要望があった。今後も、自らの健康は自ら守りつくることを目指し、ノルディック・ウォークを通して区民の健康づくりの推進を図っていきたい。</p>				

区課題解決事業 No.4

＜平成27年度＞（東区 区振興課）

現 状	完了
-----	----

事業名	中学生自転車危険予知体験教室			
事業の目的	自転車交通事故には、いくつかのパターンがあり、このパターンを、プロのスタントマンが、実際に自転車、自動車などを使用して再現し、どうしたら未然に事故を防げるかを学ぶ交通安全教室を実施する。事故の再現により、感覚的に「恐怖」を感じさせ、事故を未然に防止することがねらいであり、事故の抑止効果を図る。			
事業の成果 (内容)	<p>実施内容：自転車交通事故の再現スタント、その解説、車の死角の体験など</p> <p>参加者：各中学校の全校生徒、教員、周辺住民</p> <p>開催状況</p> <p>(1) 丸塚中学校 開催日：平成27年10月6日（火） 参加者数：約670人（生徒約600人、教員約40人、周辺住民など住民約30人）</p> <p>(2) 積志中学校 開催日：平成27年12月2日（水） 参加者数：約850人（生徒約750人、教員約50人、周辺住民など住民約50人）</p> <p>＜アンケート回答※抜粋＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故の怖さが分かり、気を付けようと思った。被害者も加害者も良いことは一つもない。(積志中1年女子) ・左右確認も当たり前だし、自分と周りを十分確認して気を付けていきたいと思った。違反は絶対しない。(丸塚中1年女子) ・交通事故の怖さがよくわかった。周りをよく見ていないと事故を引き起こしてしまう。(丸塚中2年男子) ・交通ルールを守らないとどうなるか良く分かった(積志中2年男子)。 ・今日学んだことをしっかりと生活にも生かしていきたい今までに守れていなかった所はしっかりと守れるようにしていきたい。雨の日は特に気を付けていきたい。(積志中3年男子) ・実際の事故が起こった様子をとても間近で見ることができた。起こった事故の原因と普段の自分の自転車の乗り方を比べて交通ルールを再確認することができた。(丸塚中3年女子) 			
総事業費(円)	決算額	898,722		
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ（地域課題・地域資源）	(高)い	普通	低い
	2) 事業の公益性	(高)い	普通	低い
	3) 事業の効果	(高)い	普通	低い
	4) 経済性（費用対効果）	(高)い	普通	低い
意見等				
<p>・アンケートの結果、生徒の9割以上が「ためになった」と回答している。頭で理解させるのではなく、感覚的に「恐怖」を感じさせて、事故を未然に防止するねらいであり、これ以上の抑止効果を期待できる交通安全教室は、他にないと思う。</p> <p>・東京からプロのスタントマンが来るため、1回あたり、40分の教室で、約450,000円の費用がかかるが、実演による抑止効果を考えると、決して高いものではないと思う。</p>				

区課題解決事業 No.5

< 平成27年度 > (東区 区民生活課)

現 状 完了

事業名	交通安全・防犯のための点検運動			
事業の目的	東区では交通事故が多く発生しているため、地域住民が主体的に「安全安心な地域づくり」に取り組むことにより交通事故を未然に防ぎ、防犯意識も高め、かつ、地域コミュニティづくりに資するものとする。			
事業の成果 (内容)	<p>自治会が中心となり各種団体が協力して、日常生活に欠かせない道路や児童生徒の通学路等の安全点検を実施し、危険箇所等が載った地図(リーフレット)を作成し配布した。また、地域ぐるみで防犯意識を持つよう啓発物品等(クリヤケース)を作成し配布した。</p> <p>今年度は積志地区の4つの小学校区の内、モデル事業として1か所、積志小学校区でこの事業を行った。</p> <p>○平成27年8月24日(月) 第1回打合せ会 20人 ・会議内容:目的、事業内容、実施期間等を説明、実施方法を協議</p> <p>○平成27年9月、10月 積志小学校区の各自治会で危険箇所の点検</p> <p>○平成27年11月27日(金) 第2回打合せ会 20人 ・会議内容:点検運動の状況報告、印刷物の概要、浜松東警察署員による交通安全の講話</p> <p>○平成28年3月5日(土) リーフレット配布 7,400枚 ・積志小学校区内の全戸 6,300枚 積志協働センター窓口 580枚 東警察署 60枚 積志交番130枚 積志小学校 230枚 東区区民生活課 100枚</p> <p>○平成28年3月18日(金) クリヤケース配布 2,100枚 ・積志地区高齢者クラブ会員 850枚 積志協働センター窓口 500枚 東警察署 25枚 積志交番150枚 積志小学校 75枚 東区区民生活課 100枚 バス・タクシー券交付者(積志協働センター内) 400枚</p>			
総事業費(円)	決算額	533,474		
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ (地域課題・地域資源)	(高)い	普通	低い
	2) 事業の公益性	(高)い	普通	低い
	3) 事業の効果	高)い	(普)通	低い
	4) 経済性 (費用対効果)	高)い	(普)通	低い
意見等				
<p>・この事業を実施したことにより、安全安心な地域とするために「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識が芽生える一助になったと感じている。</p> <p>・子供の目線、お年寄りの目線で道路の安全点検を行った結果、ドライバーの目線だけでなく交通弱者の意見を聞くことにより、効果的にリーフレット作成ができた。</p> <p>・地域が危険箇所として挙げた場所は、浜松東・浜北土木整備事務所や浜松東警察署で現場を確認し、緊急性の高いものは速やかに改良されている。今後も他地区でこの運動を展開し広めていきたいと考える。</p>				

区課題解決事業 No.6

< 平成27年度 > (東区 区民生活課)

現状 完了

事業名	親子でかかしづくりにチャレンジ			
事業の目的	地域との協働、諸団体との連携等により、顔と顔のつながるコミュニティの形成を図り、地域の特性を活かしたまちづくりを推進するため。			
事業の成果 (内容)	<p>1 天竜協働センター地区内の親子を対象に、かかし1体をつくり、展示、かかしコンテスト及び協働センターまつりにおいて表彰式を実施。</p> <p>①平成27年8月2日(日)第1回かかしづくり講座 天竜協働センター講座室 「かかしの作り方、必要な物、形を考えよう」必要なことを知ろう。参加人数:親子10組20名</p> <p>②平成27年8月30日(日)第2回かかしづくり講座 天竜協働センターホール 「かかしづくり」実際に、かかし10体を制作した。参加人数:親子10組20名</p> <p>③平成27年9月4日(金)～9月30日(水)かかし展示 展示場所:天竜川駅北ホケットパーク5体及び中ノ町フラワーロード5体 ※9月8日(火)台風の影響を考慮し、一時かかしを撤去、9月14日(月)より再度かかしを展示した。 ※展示期間中、かかし展示場所の見回りを実施した。 ※かかしの展示と併せて「交通安全のノボリ」をたて、交通安全の啓発に努めた。</p> <p>④平成27年9月7日(月)～平成27年9月30日(水)の期間 「親子で、かかしづくりにチャレンジ! 2015かかしコンテスト」と題し、地元小学校の協力を得て作品写真による投票を実施した。 投票場所:和田小学校、和田東小学校、中ノ町小学校及び天竜協働センター 総投票数1,559票</p> <p>⑤平成27年11月7日(土)天竜協働センターまつりに併せて、「かかしコンテスト」の結果発表と表彰式を実施した。 表彰式出席者数200名 最優秀賞グランプリ(全体最多得票数)「ケビン」340票 優秀賞(和田地区最多得票数)「ピョン吉」259票、優秀賞(中ノ町地区最多得票数)「コマさん」258票</p> <p>2 地域住民に身近な施設を紹介する散策マップを作成。 和田地区及び中ノ町地区自治会等の協力を得て、天竜協働センターを中心に、かかし展示場所を繋ぐ「和田・中ノ町地区を巡る ぐるっとまち散歩」1,000部を作成し、自治会・幼稚園・保育園等へ配布した。</p>			
総事業費(円)	決算額	300,000		
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ(地域課題・地域資源)	高い	普通	低い
	2) 事業の公益性	高い	普通	低い
	3) 事業の効果	高い	普通	低い
4) 経済性(費用対効果)	高い	普通	低い	
意見等				
<p>・事業参加者の募集から、かかしの制作・展示、かかしコンテスト、表彰及びマップの作成において、各自治会、小学校、センター利用者等の協力により実施することができ、地域のつながりに寄与できた。</p> <p>・かかし講座終了後のアンケートでは、参加者同士が一緒になって作り方を検討するなど、コミュニケーションが図られたとの意見や、子どもと一緒に一つの物を作れた等の意見が寄せられ、親子の絆の深まりを感じた。</p> <p>・地域の身近な施設を紹介する「散策マップ」により、地域の方々に地域を知っていただくための機会が提供できた。</p>				

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	平成 28 年度地域力向上事業について (5 月追加申請分)				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>地域力向上事業は、市民協働の手法により住みよい地域社会を実現するため、市が実施又は支援する区の特性を活かした事業や課題を解決する事業です。</p> <p>○市民提案による住みよい地域づくり助成事業 団体の提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業に対し市から補助金を交付することで、効果が期待できる事業</p> <p>○区民活動・文化振興事業 地域の活性化や文化振興のため、市民協働の観点を取り入れて実施する事業</p> <p>○区課題解決事業 区内の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて実施する事業</p>				
対象の区協議会	東区				
内 容	○市民提案による住みよい地域づくり助成事業 2 件 提案のあった助成事業について、事業内容等に対しご意見をお伺いいたします。提案事業の詳細は別添資料の通りです。				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	提案団体に、事業の採用・不採用の決定通知を送付 (6 月)				
担当課	東区・区振興課	担当者	鈴木忠・小杉	電話	424-0115

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

地域力向上事業（市民提案による住みよい地域づくり助成事業）について

○東区行政推進会議における採択基準について

助成事業を採択する際、下記の基準で審議を行っています。

審査指標（全区統一）			点 数				
			低い	やや低い	普通	やや高い	高い
1	独自性	行政施策に同じような事業はないか。	1	2	3	4	5
2	東区らしさ	区固有の人材、資源等を活かしているか。より発展・強化させることに繋がるか。	1	2	3	4	5
3	効果・公益性	住みよい地域づくりに寄与できるか。	1	2	3	4	5
4	財政支援の必要性	行政が補助すべき事業か。	1	2	3	4	5
5	費用対効果	事業内容、期待できる効果から、妥当な事業費といえるか。	1	2	3	4	5

採択候補として区協議会に提出する基準

全区共通：「効果・公益性」の項目について、評価の平均が3点以上であること。

※上記に加えて東区の基準として

評価の平均が15点以上であり、かつ出席者の半数以上が15点以上であること。

○採択回数と補助率について

助成事業は、採択回数に応じて補助率が変わります。原則として下記の補助率です。

採択回数	補助率
1回目	50%以内
2回目	40%以内
3回目	25%以内

※補助率に関わらず、限度額は200万円です。

採択回数が4回目となる事業についての考え方

3回目までと同じ内容の場合は採択できませんが、事業内容がリニューアルされていれば1回目の事業として採択することができます。

区 分	予算額	交付決定済額	残額	追加補助金額 (希望額)
助成事業	3,800,000 円	2,466,000 円	1,334,000 円	683,000 円

◆助成事業

No.	提案事業名	提案者	事業の目的・効果	提案内容	提案事業費 (希望補助額) (希望補助率)	採択 回数	区行政推進会議検討結果	
8	未来につなぐ ー地域と人・歴史ー 東区の魅力冊子作成	みらいネッ ト浜松	<ul style="list-style-type: none"> ・東区 6 地区の後世に伝えたい歴史や伝統ある遺産、様変わりするまちの現状を分かりやすくまとめ冊子にし、地域の宝をみんなで大切にしようという意識を高める。 ・東区の魅力を、浜松市地区の人々や観光客にも知っていただくことで、ウォーキングなどに利用して訪れる人が増え、まちが活気づく。 ・今後のまちづくりの方向の一つとして、地域遺産を検証し著すことは、住民が地域への愛着と暮らしの文化を考え直す契機となる。 ・小中学生の校外学習ガイドブックとして使用し「伝統を守る心」を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域紹介冊子の作成（カラー印刷、90 頁前後、A5 版） ・持ちやすいサイズで 1 地区 20 か所と項目を多くし、誰もが訪れやすいよう地図掲載した冊子。（1000 部） ・調査研究は、地域の人からの聞き取りや、既存の資料を検証しながら、より関心の深まる事柄を正確に編集し、寺社仏閣など遺物だけでなく、伝承民話、古木、古民家など地域に関わる文化遺産、更に未来につなぐ新しい施設など、まちを暮らしという広い視野でとらえていく。 ・学校・協働センター・市施設・自治会・協力関係者などに 300 部程度無料配布する。 	1,102,400 円 (551,000 円) (50%)	1 (1)	※現在審査中です。 当日配布の差替え資料に掲載します。	
				時期				平成 28 年 8 月～平成 29 年 1 月
				場所				東区 6 地区（現地調査）、協働センターほか
9	遊休農地を利用してそ ば作りで地域の活性化	地域の食の 自給率を 上げる会	<p>様々な事情で耕作放棄地が増え、そこには、家庭ごみ、産業廃棄物等の不法投棄が発生する可能性があり、地域にとっては好ましいことではない。この農地を借り、有志の協力を得て、そばを栽培し、北遠地区の協力を得て、そば打ち体験を開く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○そばの栽培、収穫、そば打ち体験会 6 月 遊休農地を耕作 9 月 種まき 11 月 収穫 2 月 そば打ち体験会 ・小学生によるそば畑の見学を行い、実際のそばの花を見てもらったり、そばの栽培の話をしたりして、農業を身近に感じてもらう。 ○写真展 そばの種まきからそば打ち体験までの写真展を実施 	265,500 円 (132,000 円) (50%)	3 (6)	※現在審査中です。 当日配布の差替え資料に掲載します。	
				時期				平成 28 年 6 月 10 日～平成 29 年 3 月 31 日
				場所				東区東部 中ノ町地区ほか



報道発表

区協議会の開催日程（5月）について

区協議会が、次のとおり開催されます。

協議会名	回数	日時	場所	会議内容(予定)	傍聴定員	問合せ先
中区協議会	第2回	5月25日(水) 13:30～	中区役所 2階21会議室	・(協議)第10次浜松市交通安全計画策定に係るパブリックコメントの実施について ・地域課題について ・その他	6人程度 (先着順)	中区役所 区振興課 TEL:457-2210
東区協議会	第2回	5月25日(水) 13:30～	東区役所 3階31・32会議室	・(協議)第10次浜松市交通安全計画策定に係るパブリックコメントの実施について ・(協議)平成27年度地域力向上事業の事後評価について ・(協議)平成28年度地域力向上事業について ・地域課題について ・その他	10人程度 (先着順)	東区役所 区振興課 TEL:424-0115
西区協議会	第2回	5月25日(水) 13:30～	西区役所 3階大会議室	・(協議)第10次浜松市交通安全計画策定に係るパブリックコメントの実施について ・(協議)平成27年度地域力向上事業の事後評価について ・(協議)平成28年度地域力向上事業の採用事業について ・地域課題について ・その他	5人 (先着順)	西区役所 区振興課 TEL:597-1112
南区協議会	第2回	5月24日(火) 13:30～	南区役所 3階大会議室	・(協議)第10次浜松市交通安全計画策定に係るパブリックコメントの実施について ・(協議)平成27年度地域力向上事業について ・(報告)高塚川流域の総合的な浸水対策について ・地域課題について ・その他	10人 (先着順)	南区役所 区振興課 TEL:425-1120
北区協議会	第2回	5月26日(木) 15:30～	北区役所 3階31・32会議室	・(協議)第10次浜松市交通安全計画策定に係るパブリックコメントの実施について ・(協議)平成27年度地域力向上事業の事後評価について ・地域課題について ・その他	5人程度 (先着順)	北区役所 区振興課 TEL:523-1168
浜北区協議会	第2回	5月26日(木) 13:30～	浜北区役所 3階大会議室	・(協議)第10次浜松市交通安全計画策定に係るパブリックコメントの実施について ・(協議)平成27年度浜北区地域力向上事業の事後評価について ・(協議)平成28年度浜北区地域力向上事業の提案について ・(報告)浜北コミュニティバスの運行改正について ・地域課題について ・その他	10人 (先着順)	浜北区役所 区振興課 TEL:585-1141
天竜区協議会	第2回	5月26日(木) 14:00～	天竜区役所 2階21・22会議室	・(諮問)市営住宅(神妻団地)の廃止について ・(協議)第10次浜松市交通安全計画策定に係るパブリックコメントの実施について ・(協議)平成27年度地域力向上事業の事後評価について ・(協議)平成28年度地域力向上事業について ・地域課題について ・その他	5人程度 (先着順)	天竜区役所 区振興課 TEL:922-0013

*傍聴の申し込みは、各区役所区振興課へお問い合わせください。